

## 中国秋季リーグ戦男子1部 Final stage 結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

10/29、30 に広島県猫田記念体育館において、男女1部 Final stage が開催されました。

広島大学男子の結果は、以下のとおりです。

vs 川崎医療福祉大学【棄権】

○3-0 (25-0、25-0、25-0)

vs 福山平成大学

●0-3 (18-25、22-25、19-25)

vs 東亜大学

●0-3 (12-25、17-25、22-25)

- 1位 東亜大学 10勝0敗
- 2位 福山平成大学 8勝2敗
- 3位 広島大学 6勝4敗
- 4位 広島経済大学 3勝7敗
- 5位 島根大学 3勝7敗
- 6位 川崎医療福祉大学 0勝10敗

サーブ賞 保坂 亮佑

サーブレシーブ賞 樋口 雄飛

(広大バレー部 Twitter)

<https://twitter.com/hirodaiVOLLEY>

サーブレシーブ成功率において、樋口、水谷、保坂で3位までを独占したように、福山平成大学戦では前回から一変してキャッチが返り続けました。相手からすると思うように連続得点が取れないため、サーブは強度を抑えてでもミスを極力減らし、スパイクで3人以外を狙うことと、ブロックでの的を絞ることにシフトチェンジしていました。それに対応しきれず

敗戦したものの、強力なサーバー陣を完全に封じた広大なキャッチラインには大きな収穫がありました。松本の負傷後も試合が崩れることなく、むしろ西村紀をはじめ全員がギアチェンジをして終盤には一時逆転するなど、応援されるチームとして相応しい内容だったと思います。

サーブ効果率においては、保坂、松本で1位と2位、ブロック決定本数では高橋がTOPまであと1本と迫る2位、総得点は誰にも偏らずに9位が最高と、チーム内の工夫が伝わってきます。新人賞は、春秋を通して活躍した広島経済大学のエースが受賞しましたが、春からの成長力と言えば、水谷が全ての1年生の中で一番だと思います。元気に走り回るのももちろん、失点しても下を向かず、常に必要な声を出し続ける姿は、もはやチームの中心です。中に回るコンビには手応えを感じたと思いますので、保坂とともに攻撃に動きを取り入れられると、もう一段上の戦い方が出来るでしょう。

稲葉の出場時間は、村上の後衛で入ったわずか数分間でした。ベンチではいるのかいないのか、試合に参加しているのかいないのかも分からないくらいですが、軽く足を伸ばしただけで誰よりも強いジャンプサーブで相手を崩し、バックアタック一本で会場の空気を一変させてくれました。あの1点は会場が待ち続けていた1点であり、チームとしても、そして本人にとっても大きな1点だったと思います。レシーブの動きを見ても、稲葉自身の準備が出来ていたことは明らかで、やはりコートにいてこそ輝くエースだと誰もが強く認識したと思います。

今週の敗因は、頑張っている人、盛り上げられる人が出場する五大学やリーグ戦の仕様で戦ってしまったことです。最終週が負けても仕方がない2試合のみという状況は、今後もう二度とないでしょう。自分たちが所属している部活動というものが非常に小さなコミュニティであることを忘れ、プライドやこだわりを優先しているようでは、これまで積み重ねてきた信頼ですら簡単に崩れます。全日本インカレは頑張ってきた人が出場する大会ではありません。コートに立つべきなのは、チームを勝利に導ける人です。全員が猛省して、残り1か月、誰もが今年最高だと断言できるチームを作りたいと思います。

今週土曜日は秋季リーグ入替戦が行われます。

2部2位の広島大学女子は、1部5位の福山平成大学と対戦します。

引き続きよろしくお願いたします。